

フローリング 施工上の注意

必ずお読みください。

■ウッドマスターフローリングを選定する際の注意

- ・ウッドマスターフローリングには床暖房対応商品と非対応商品があります。
設計図面で詳細が決まっていない場合は必ず確認してください。
- ・接着剤は施工方法や施工箇所により異なりますので事前に確認してください。

■施工前に以下の点をご確認ください。

- ・雨の降りこみ等により、下地材が濡れた状態での施工はやめてください。目隙・変形・割れ・反り・踏鳴りなどの原因になります。
- ・換気口は規格に合わせて設置してください。
(床下の換気が十分でない場合、施工後に暴れ・突き上げ・踏み鳴りなどが発生する場合があります。)

■施工上のお願い

- ・施工現場にて2～3日前に開包して、現場になじませてから施工してください。
- ・天然木製品の為、一枚一枚色調、木目が異なる為、施工前には必ず仮並べをし、色調を確認の上、割付を行ってください。
- ・下地材が乾燥(乾燥の目安/含水率20%以下)している事を確認してください。乾燥していないと施工後膨れや、痩せが起こり踏鳴りの原因になります。床下からの湿気が多い場合は0.1mm以上の防水シートを敷き遮断することをお勧めします。
- ・捨て張り用合板を設ける場合「りゃんこ張り」とし2mm程度の隙間を空けるように施工をお願いします。
- ・下地に固定する際に雄実部が破損しないように注意してください。(割れたまま施工すると踏鳴りなどの原因になります。)
- ・下地材の継手部分とフローリング材の継手部分が重ならないように十分注意して施工してください。
- ・実は強く叩き込みすぎないようにしてください。(膨張時の反りを防ぐため)
- ・壁際は突き付け施工をせず、必ず5mm～10mm程度の隙間を設けてください。

■施工後の注意

- ・表面保護の為に必ず養生シートを全面に敷いて、砂などが入らないように養生テープで止めてください。また、木材は日に焼けるため、必ず隙間がないよう全面に養生シートを敷いてください。
養生テープ以外の市販品の布テープやガムテープは粘着力が強い為、取り除く際に表面材を傷める場合がありますので使用を避けてください。
- ・養生シートを敷いた後で継続して作業を行う際は、引き傷や、へこみ傷がつかないように合板などで敷き込むことをお勧めします。
- ・貼った養生テープを剥がす際は、床材表面の塗装が剥離しないように注意しながら作業を行ってください。
- ・養生材は必ず通気性のある物をご使用ください。



フローリング 施工上の注意

必ずお読みください。

■ウッドマスターフローリングを選定する際の注意

- ・ウッドマスターフローリングには床暖房対応商品と非対応商品があります。
設計図面で詳細が決まっていない場合は必ず確認してください。
- ・接着剤は施工方法や施工箇所により異なりますので事前に確認してください。

■施工前に以下の点をご確認ください。

- ・雨の降りこみ等により、下地材が濡れた状態での施工はやめてください。目隙・変形・割れ・反り・踏鳴りなどの原因になります。
- ・換気口は規格に合わせて設置してください。
(床下の換気が十分でない場合、施工後に暴れ・突き上げ・踏み鳴りなどが発生する場合があります。)

■施工上のお願い

- ・施工現場にて2～3日前に開包して、現場になじませてから施工してください。
- ・天然木製品の為、一枚一枚色調、木目が異なる為、施工前には必ず仮並べをし、色調を確認の上、割付を行ってください。
- ・下地材が乾燥(乾燥の目安/含水率20%以下)している事を確認してください。乾燥していないと施工後膨れや、痩せが起こり踏鳴りの原因になります。床下からの湿気が多い場合は0.1mm以上の防水シートを敷き遮断することをお勧めします。
- ・捨て張り用合板を設ける場合「りゃんこ張り」とし2mm程度の隙間を空けるように施工をお願いします。
- ・下地に固定する際に雄実部が破損しないように注意してください。(割れたまま施工すると踏鳴りなどの原因になります。)
- ・下地材の継手部分とフローリング材の継手部分が重ならないように十分注意して施工してください。
- ・実は強く叩き込みすぎないようにしてください。膨張時の反りを防ぐため、名刺1枚～2枚程度の隙間を設けてください。
- ・壁際は突き付け施工をせず、必ず5mm～10mm程度の隙間を設けてください。

■施工後の注意

- ・表面保護の為に必ず養生シートを全面に敷いて、砂などが入らないように養生テープで止めてください。また、木材は日に焼けるため、必ず隙間がないよう全面に養生シートを敷いてください。
養生テープ以外の市販品の布テープやガムテープは粘着力が強い為、取り除く際に表面材を傷める場合がありますので使用を避けてください。
- ・養生シートを敷いた後で継続して作業を行う際は、引き傷や、へこみ傷がつかないように合板などで敷き込むことをお勧めします。
- ・貼った養生テープを剥がす際は、床材表面の塗装が剥離しないように注意しながら作業を行ってください。
- ・養生材は必ず通気性のある物をご使用ください。

